

消費科学連合会と食品安全委員会委員との懇談会

1. 日時 : 平成15年12月18日(木) 16:30~18:00

2. 場所 : 食品安全委員会委員会室

3. 出席者 : (敬称略)

・消費科学連合会	会長	大木 美智子
・消費科学連合会	副会長	犬伏 由利子
・消費科学連合会	副会長	伊東 依久子
・消費科学連合会	企画委員	小西 靖子
・消費科学連合会	企画委員	内藤 英代
・消費科学連合会	企画委員	横田 倫子

< 食品安全委員会委員 >

寺田委員長、小泉委員、見上委員、坂本委員、本間委員

< 食品安全委員会事務局 >

梅津事務局長、一色事務局次長、西郷リスクコミュニケーション官、宮寄評価調整官

4. 議事 : (司会 西郷リスクコミュニケーション官)

- (1) 委員長挨拶
- (2) 委員紹介
- (3) 出席者紹介
- (4) 意見交換

5. 意見交換の主な発言 (: 消科連側発言 : 委員及び事務局側発言)

(食品安全委員会のホームページ等の活用について)

- : 食品安全委員会のホームページ(HP)をもっと活用すべきではないか。国民が不安を感じるような報道がなされた場合はすぐに食品安全委員会のHP上で、科学的な解説が掲載されると消費者は安心すると思う。HPに情報が掲載されていれば、HPを見ることのできない人にも該当箇所をFAXして説明することができる。
- : 食品安全委員会、「食の安全ダイヤル」ともに知られていない。食品安全委員会が公開されていることについても、もっと広報が必要である。
- : 企業のお客さま相談室のような気軽に問い合わせできる体制を整えて欲しい。
- : 「食の安全ダイヤル」は、リスク管理に関することでもリスク管理機関に問い合わせし、必ず答えを返している。厳格なリスク評価に関すること以外にも、素朴な疑問でも良いので、問い合わせで欲しい。

(消費者の「安心感」を得るための方法等について)

- : BSE問題等、信頼性の欠落が大きな問題であった。従来の方法では消費者に伝わらない。わかりやすい説明と情報を適時提供することが必要である。今年に入ってからBSE発生に関してパニックが起こらないのは、適時に行政等から情報が出されていると消費者がわかってきたからである。
- : 「安全」と「安心」は違うものであり、全く同列に並べて議論するのは適当ではない。

- : 食品の放射線照射処理について、どのように考えているか。特に原子力関連はリスクコミュニケーションが進んでいるので、いろいろと情報収集したい。
- : 食品の放射線照射処理は個人的には有効利用してほしいと考えている。いずれにしても専門家の方のわかりやすい説明が欠かせない。無駄のない広報が必要だろう。
- : 消費者は「安全である」という情報よりも、「こわい」という情報の方を信用する傾向がある。マスコミも何か事件が起きると危険を強調した報道になっている。これは問題だ。
- : マスコミは「安全である」とは報道しない。専門家がいくら安全といっても、不安を覚える人は多い。ぜひ、貴団体と協力して、「安心感」を広めていきたい。
- : 科学者は「正確さ」を重要視するために、かえって表現がわかりにくくなる。消費者の方々からも「こういう表現ならわかりやすい」等のアドバイスをぜひ、お願いしたい。
- : 立場や考え方の異なる者同士が同じ場でディスカッションするような機会を作るべきである。意見の違いやデータの読み方の違いなどがそのような場で議論される必要がある。こういったディスカッションを消費者が見ることで、客観的な自己判断力が養われるはずである。
- : 説明責任があると思っている。さらに取り組んでいきたい。
- : 消費科学連合会が添加物業界のアドバイザー等になると、もっと消費者の添加物への正しい理解が深まるのではないだろうか。

(その他)

- : 個人が「リスク評価」を依頼することができるのか。
- : 今は管理機関からの要請が中心である。「規制」が不十分なものから順次行っているのが現状である。疑問点や不安を感じるがあれば、「食の安全ダイヤル」に報告して欲しい。厳密に「リスク評価」を実施するに至らないことでも、様々な文献やデータを提供することで、疑問に答えることはできる。
- : 諸外国の事件等はどのように扱っていくのか。
- : 本委員会と同様の他国の機関との情報ネットワークを構築しつつある。来年度は海外情報のデータベース化も目指している。
- : 本委員会が発足したこと自体が、日本の食品安全行政の第一歩であると思う。省庁間の壁をできるだけなくしており、他国からも注目されている。管理機関との良い意味で緊張と連携のバランスをとりながら進めていきたい。
- : 授乳期の母親を中心にマグロ中の水銀について不安だとする声が当団体にも拳がっている。このような不安の声にどのように答えればいいのか。
- : メチル水銀は体外に排出されるので、マグロを食べても問題ない。むしろ母乳中の有効成分を摂取することが重要であり、母乳は必要であることを説明してほしい。

(以上)